

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地産地消推進事業			会計	款	項	目	大	小
				01	06	01	03	03	05
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①市内産農作物 ②市民	意図	①できるだけ新鮮な状態で市内で消費される。 ②流山産農作物の良さを実感してもらう。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と生産者の相互理解が深められるよう、フェイス・トゥ・フェイスの取組みを推進する。 ・「新鮮食味」を始めとする市内農産物直売所及び流山市農産物をPRする。 ・市内産の米、野菜、果樹を使った料理方法等（講習会の開催、レシピの紹介）を周知する。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年11月から市内の中心的農産物直売所として開設された「新鮮食味」を流山市農産物直売所出荷組合が運営し、市内各地の農作物を販売している。 ・料理講習会の開催やレシピ作成にあたって、流山市農家生活研究会等の協力を得ており、市の広報紙やホームページで情報発信を行っている。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	市内に開設されている農産物直売所数	43	43	43	箇所	→→
②	「新鮮食味」における1日平均売上額	88,506	90,590	84,725	円	→→	
③	「新鮮食味」における1日平均購入客数	108	103	98	人	→→	
④	料理講習会（市主催）への応募者数	63	39	46	人	→→	
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						算定式
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,260,975	2,098,810	2,136,871				
事業費(b)(円)	201,475	85,210	159,271				
うち一般財源	161,975	58,210	128,271				
職員給与費(c)(円)	2,059,500	2,013,600	1,977,600				
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

◆市内農産物を直売所で販売又はイベント等に出店することにより地元農産物のPRや地産地消の推進を図っている。

◆ジャム作り講習会、味噌ピーナッツ作り講習会、メンマ作り講習会を開催し、地元農産物を使ったレシピにより、地産地消の推進を図った。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	地元農産物を使った講習会を展開し地産地消を推進していく。	③取組における課題(Check)	消費者の市内産農産物への理解 消費者及び生産者の地産地消の推進
②H30に実施した取組(Do)	各種講習会を開催し、市内農産物を使った料理方法について紹介した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	・地産地消の周知活動を販売やイベント出店等により推進していく。 ・学校給食における市内産野菜の使用拡大を図る。